

2019年度 第1回健康食品管理士会東北支部総会・研修会 および市民公開講座のお知らせ

参加費は無料です。皆様お誘い合わせ、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

日時：2019年5月26日(日)13時30分～16時00分

場所：弘前大学大学院保健学研究科 第33講義室（青森県弘前市本町66-1）

13時00分 受付

2019年度東北支部総会

13時30分 開会の挨拶 東北支部長 杉澤 淳

平成30年度 事業報告・決算報告

2019年度 事業計画・予算案

その他

13時50分 東北支部研修会・市民公開講座

講演「カシスが秘めるフィトエストロゲン効果」

七島 直樹 先生（弘前大学大学院保健学研究科 生体検査科学領域 准教授）

講演概要：「カシスはニュージーランドなどの冷涼な地域で生産量が高く、日本では青森県が全国最大である。2015年には地理的表示保護制度の第1号にあおりカシスが認定されているが、その知名度やカシスが有する保健機能についてはあまり知られていない。我々は近年、カシス抽出物や豊富に含まれているアントシアニンに植物性女性ホルモン(フィトエストロゲン)効果があることを見出した。本講演では、カシスのフィトエストロゲン作用について、皮膚や毛包、血管内皮の機能改善に焦点を当てて講演したい。」

14時50分 休憩

15時00分 講演「食品に含まれる色素と健康の関係」

前多 隼人 先生（弘前大学農学生命科学部 食料資源学科 准教授）

講演概要：「食品には様々な天然の色素が含まれている。特にアントシアニンやカロテノイドは食品に視覚的な美味しさを与えことに加え、抗酸化作用やがん、肥満に関係する疾患の予防効果などの健康機能性を示すことがわかってきた。例えばワカメやコンブなどの海藻に含まれるカロテノイドであるフコキサンチンは脂肪細胞に働きかけ、肥満や糖尿病の予防効果を示すことが報告されている。本講演では東北地方で馴染みの海藻や、地域で生産される農産物に含まれる色素に着目した機能性評価研究について紹介する。」

16時00分 閉会挨拶

問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科

七島 直樹

TEL: 0172-39-5968

E-mail: nnaoki@hirosaki-u.ac.jp